【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公開番号】特開2001-282275(P2001-282275A)
【公開日】平成13年10月12日(2001.10.12)
【出願番号】特願2000-99422(P2000-99422)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ１０Ｌ　13/06
　Ｇ０６Ｆ　 3/16
　Ｇ１０Ｌ　13/08
【ＦＩ】
　Ｇ１０Ｌ　 5/04　　Ｆ
　Ｇ０６Ｆ　 3/16　３３０Ｋ
　Ｇ１０Ｌ　 3/00　　Ｈ
　Ｇ１０Ｌ　 5/04　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月10日(2004.12.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　音声波形から複数の微細素片を取得する取得工程と、
　前記音声波形の韻律を制御するべく前記取得工程で取得した微細素片を処理する処理工程であって、前記複数の微細素片のうち選択された微細素片に対しては所定の韻律制御の実行が禁止される処理工程と、
　前記処理工程によって韻律制御された音声波形を用いて合成音声を得る合成工程とを備えたことを特徴とする音声合成方法。
【請求項２】
　前記処理工程は、前記音声波形に対応する制限情報に基づいて選択された前記微細素片に対する所定の韻律制御の実行が、前記制限情報に基づいて禁止されることを特徴とする請求項１記載の音声合成方法。
【請求項３】
　前記処理工程は、制限情報が対応付けられていることによって選択された微細素片に対する所定の韻律制御の実行が、該制限情報に基づいて禁止されることを特徴とする請求項１記載の音声合成方法。
【請求項４】
　前記処理工程は、韻律制御として合成音声の発声時間の時間短縮を行なう場合に、前記選択された微細素片の削除が禁止されることを特徴とする請求項１記載の音声合成方法。
【請求項５】
　前記処理工程は、韻律制御として合成音声の時間伸長を行なう場合に、前記選択された微細素片の繰り返し使用が禁止されることを特徴とする請求項１記載の音声合成方法。
【請求項６】
　前記処理工程は、韻律制御として合成音声の基本周波数の変更を行なう場合に、前記選択された微細素片の間隔変更が禁止されることを特徴とする請求項１記載の音声合成方法。

【請求項７】
時間軸に並ぶ複数の窓関数と、それらのうちの少なくとも一つの窓関数に対応付けられた制約情報を記憶する記憶手段を更に備え、
前記取得工程は、前記複数の窓関数を用いて音声波形から微細素片を切り出すことにより微細素片を取得し、
前記制限情報は、窓関数に該制約情報が対応付けられている場合に、その窓関数によって切り出された微細素片に対応付けられることを特徴とする請求項２記載の音声合成方法。
【請求項８】
前記処理工程は、音声波形上の特定位置に対応する微細素片に対する所定の韻律制御の実行が禁止されることを特徴とする請求項１記載の音声合成方法。
【請求項９】
前記特定位置が有声音部分と無声音部分との境界を含むことを特徴とする請求項８記載の音声合成方法。
【請求項１０】
前記特定位置が音素境界を含むことを特徴とする請求項８記載の音声合成方法。
【請求項１１】
前記特定位置が、破裂音を含む所定の範囲であって、該所定の範囲が複数の微細素片を含むことを特徴とする請求項８記載の音声合成方法。
【請求項１２】
音声波形から複数の微細素片を取得する取得手段と、
前記音声波形の韻律を制御するべく前記取得手段で取得した微細素片を処理する処理手段であって、前記複数の微細素片のうち選択された微細素片に対しては所定の韻律制御の実行が禁止される処理手段と、
前記処理手段によって韻律制御された音声波形を用いて合成音声を得る合成手段とを備えたことを特徴とする音声合成装置。
【請求項１３】
請求項１乃至１１のいずれかに記載の音声合成方法をコンピュータによって実現するための制御プログラムを格納したことを特徴とする記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【課題を解決するための手段】
上記の目的を達成するための本発明の一態様による音声合成方法は例えば以下の構成を備える。即ち、音声波形から複数の微細素片を取得する取得工程と、前記音声波形の韻律を制御するべく前記取得工程で取得した微細素片を処理する処理工程であって、前記複数の微細素片のうち選択された微細素片に対しては所定の韻律制御の実行が禁止される処理工程と、前記処理工程によって韻律制御された音声波形を用いて合成音声を得る合成工程とを備える。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、上記の目的を達成するための本発明の他の態様による音声合成方法は例えば以下の構成を備える。すなわち、音声波形から複数の微細素片を取得する取得手段と、前記音

声波形の韻律を制御するべく、前記取得手段で取得した微細素片を処理する処理手段であって、前記複数の微細素片のうち選択された微細素片に対しては所定の韻律制御の実行が禁止される処理手段と、前記処理手段によって韻律制御された音声波形を用いて合成音声を得る合成手段とを備える。